

## ◆小地域福祉活動計画推進委員会

平成27年に設置された「認知症支援活動委員会」を今回の計画推進委員会とし、役員を中心に7回の協議を経て、策定を行い、本推進委員会を発足しました。

《委員名簿》

1	伊藤 満明	社会福祉協議会 会長
2	林 利治	認知症支援活動委員会 委員長
3	久保 夏子	認知症支援活動委員会 副委員長
4	川崎 三英子	認知症支援活動委員会 会計 民生委員児童委員協議会 会長
5	山田 修子	認知症支援活動委員会 書記 民生委員児童委員協議会 副会長
6	渡邊 美代子	認知症支援活動委員会 書記
7	泉 勝幸	認知症支援活動委員会 会計監査
8	川崎 保幸	自治連合会 会長 まちづくり協議会 会長
9	森 照男	津田新町自治会長
10	澤池 勝実	田原新町自治会長
11	角 利昭	田原自治会長
12	安東 布司子	田原市民センター 館長
13	谷脇 儀夫	田原新町老人クラブ 親和会会長
14	益村 等一	田原老人クラブ 若葉会会長
15	今村 信行	津田老人クラブ 寿会会長
16	岩木 憲治	スポーツ推進委員 委員長
17	石橋 長敬	スポーツ推進委員 副委員長
18	栗谷 静子	福祉協力員委員会 津田新町リーダー
19	平松 康子	福祉協力員委員会 田原町内リーダー
20	富田 ヨシ子	福祉協力員委員会 校区リーダー(田原新町)
21	清水 コスエ	福祉協力員委員会 津田町内リーダー
22	林 みほ	田原 子供会会長
23	野入 瑛子	津田新町 子供会会長
24	船原 由佳	津田 子供会会長
25	若松 美由紀	田原新町 子供会会長
26	島津 啓子	食生活改善推進員協議会 田原校区代表
27	グループホームが家	グループホーム
28	(有)スマイル	デイサービス
29	中村 真理子	認知症支援・介護予防センター チームオレンジ・コーディネーター
30	松岡 由佳	認知症支援・介護予防センター 認知症地域支援推進員
31	大矢 剛	小倉南区社会福祉協議会 主事
32	林川 浩子	小倉南区社会福祉協議会 地域支援コーディネーター

令和5年2月現在

## ◆田原校区について

JR下曾根駅南側に広がる区域で、校区の中央を国道10号線が縦断しています。津田八幡神社や田原天疫神社のお祭りなど、伝統行事が受け継がれているとともに、下曾根駅前や国道10号線沿いを中心に、多くの商業施設が立地し、活気あふれる地域でもあります。

人口	10,807人
世帯数	5,109世帯
高齢化率	25.4%
小学校	田原小学校
中学校	田原中学校

令和4年9月現在



田原市民センター



〒800-0225  
北九州市小倉南区田原三丁目16-31  
田原市民センター内  
TEL (093) 474-7552  
FAX (093) 474-2880

## 田原校区社会福祉協議会 小地域福祉活動第二次計画

# 老いても安心して住めるまち たはら

令和5(2023)年度～令和9(2027)年度

## 社協会長からのメッセージ

田原校区の活動にいつもご協力いただきありがとうございます。田原校区では、「**老いても安心して住めるまち たはら**」を目指し、住民主体の地域福祉活動を進めています。

少子高齢化に伴い、田原校区では認知症対策には力を入れ、平成28年には認知症支援を基軸にした「第一次計画」を策定して、推進してきたところであります。

しかし、令和2年からのコロナ禍により、さまざまな地域の行事が中止され、住民同士顔を合わせる機会が減り、地域のつながりが薄くなっているのではと気になっています。

今までの取り組みをもとに、さらに安心して住めるまちを目指し、今後の活動計画を策定しました。田原校区のみんなで、より良い田原校区にしていきたいと思います。



田原校区社会福祉協議会  
会長 伊藤 満明





# 基本理念：老いても安心して住めるまち たはら



## 基本目標

地域の福祉活動の拡充を

チームオレンジで  
ゆたかな暮らしを

災害に強い地域づくりを

## 実施項目

### ◎ 【重点1】 連絡調整会議の充実

見守りや相談活動を引続き行い、関係者が参集する社協の会議を定期的開催する。誕生花の配布、年賀状作成等も継続し、対象者（町内会に加入している65歳以上一人暮らし世帯）とのつながりを維持する。

○ 地域行事や昼食会、サロンなどで多世代を含めた地域内の交流促進



○ 学習会の実施

○ 広報紙の作成、発行

### ◎ 【重点2】 認知症になった時に声を あげられる環境づくり

各種の訓練、講座等を地域住民、地元商店等と実施し、自身が認知症になった時に声をあげられる環境づくりを行う。訓練の方法については、関係者等と、より良い方法の検討を行う。

○ 行事への参加呼びかけや施設訪問など、若年層への教育、啓発

○ 身近な範囲で相談や学習ができる認知症サロンなどの環境づくり

### ◎ 【重点3】 校区防災計画の作成と実施

社協、まち協、町内会等、田原校区の各組織が相互に協働し、校区防災計画を作成し、実施する。作成、実施にあたっては、避難発令基準の検討、策定や町内会別のマップ作成等、校区内で協働した取り組みを行う。

○ 専門家を招くなど、災害に関する各種学習会や訓練等の実施



### 認知症支援・介護予防センターより

地域の皆さんと「田原チームオレンジ」の取組みを準備中です。

具体的には、地域の認知症サポーターがステップアップ講座を受講してチームを組み、認知症の人と家族の身近な存在として日常の困りごとを早い段階から継続支援、認知症の人にもチーム員として活動します。チーム員は認知症の人と近く接しながら、先の自分の姿をイメージしたり、あったらいいしくみや、一緒にやってみたいことをどう実現していくかを考えます。認知症支援活動委員会と4つのサロンを基盤に展開していく予定とのことです。

「認知症にやさしいまち」は誰にとっても「住みよいまち」だと思います。田原校区ではすでに6回も認知症行方不明者捜索模擬訓練を開催していて、私たちも参加させていただいています。役員のみでの開催から次第に参加の層を広げてコロナ禍前は小中学生の参加もありました。

地域の皆さんが力を合わせて、どんどん地域力を上げていかれるのを伴走者として頼もしく感じています。

## ◆計画の期間と推進

令和5年(2023年)～令和9年(2027年)までの5か年です。ただし、計画期間中、地域を取り巻く状況に大きな変化があれば、見直しを行います。

計画の実施項目は、多様な関係団体・機関の協働によって実行されます。今後、策定委員は、推進委員として、計画を実行します。

関係機関や団体と連携し、3つの基本目標を達成するため、3つの重点実施項目を中心に9つの項目に取り組み、ふくしのまちづくりを進めます！